

# 琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係

沖縄復帰記念式典(3) (アグニュー副大統領関係)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43581">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43581</a>

總理  
スピーチ

の待中候と御ま  
たニハ

閣下に一時期を画する歴史的な式典を明後日  
 閣下は親しく晩餐を共にする  
 貴副大統領には御就任以来、キクヤキ  
 木統領を能く補佐され内政は云うに及ばず、  
 外交面におきまして、アジア、中近東、ヨー  
 ロッパ、アフリカ等、世界(各地)を精力的に  
 (面々)の多々実績を挙げられておられます。

外務省

大臣秘書官

儀典長

儀典官

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

アグニュー副大統領に對する佐藤総理  
 主催晩餐会における総理スピーチ(案)  
 昭和四十七年五月十三日  
 於総理官邸  
 アグニュー副大統領閣下、並びに米国及び  
 日本の来賓各位  
 ニクソン大統領の名代としてアグニュー副  
 大統領  
 御一行の方々を我が国に迎える日米友好  
 の旨を

外務省

局長の挨拶後、小形神事に入場していただきます。

訪問され、~~貴國~~の国際親善に多大の貢献を行なわれ  
ました。この度、日米両国の友好と理解を  
象徴する沖繩の日本復帰という歴史的  
事業を共に祝う為、~~貴國~~初~~貴國~~貴副大統  
領の日本訪問を見ましたこと、~~私~~に感懐  
深いものがあります。は、私心から、~~私~~の日本を  
沖繩百万県民をはじめ、日本国民全てが

外務省

待望してやがてなされた~~沖繩返還~~の快挙は、~~備~~  
日米両国の政府及び国民の間は、戦後二十七年間  
小存、この世紀余りは、~~日~~不断の努力と共に  
築き上げられてきた両国の~~友好~~の信頼関係を  
基礎として、~~日~~のありませう。  
人間一人一人が、~~日~~に、日米両国はそれ  
ぞれが豊かな個性と独自の歴史とを持つ~~存在~~

外務省

見ます。すなわち、米国の広大な国土と  
 資源に恵まれ、多くの民族を擁抱する連邦国家  
 であること、  
 他方日本は狭小な国土のうえに十数億の人口を  
 擁抱する単一民族が住む東の国であり  
 ます。しかし同時に、日米関係百年余りの  
 歴史は、われわれの間に驚く程多くの共通点か

外務省

△-△ 第一に、日米両国は、民主主義  
 を基盤とし、自由な愛他國民  
 形成しているという大きな共通点か  
 ありませう。

あることを示唆しております。また、  
 内部の流動性がこれ程高く、競争原理がこれ程  
 貫かれている国は、日米両国以外には見当ら  
 ない。また、双方の国民は現状に安んず  
 る、常により良い社会を未来に求めてあらゆ

外務省

努力を払う。ハイタリテに溢れており、<sup>また</sup>それが  
 自由と人権の尊重に最大の価値を置き、真の  
 民主主義を不断に求め続ける両国の国家理念  
 を形成し、さらには今日の経済的發展をもたら  
 したものであります。  
 われわれは不幸としてお互いを誤解し合ひ、  
 由來兩國民のみなさんが、人類全体に不幸な悲愴

外務省

を進められたことありましたが、それはいふ  
 べき共通点と相異点を混同し、あるいは、  
 一方のみに眼を奪われ、判断力を失ったため  
 である。この共通点も、戦後四半世  
 紀にわたる両国政府、国民は、<sup>日米</sup> 必  
 ずあらゆるレベル  
 において、世界に類を見ない程の緊密な友好  
 関係を築き上げて参りました。この度の

外務省

沖繩の本土復帰 （これは如才、日本語より）  
~~日本阿の分る深いなむの親長~~  
~~ます。関係が （おめ） 実現し得たことを喜ばれます。~~  
 外国の施設 （おめ） への領土が平和的を  
 戦争の結果 （おめ） 移転した施政権を双方の  
 話合の （おめ） 結果と （おめ） なることにより、  
 信頼と理解 （おめ） により、平和 （おめ） のうちに返還 （おめ） する  
 とい （おめ） 例 （おめ） ぬ （おめ） 世界史 （おめ） 上 （おめ） 類 （おめ） い （おめ） 稀 （おめ） な （おめ） こと （おめ） とい （おめ） ます。  
 私 （おめ） は （おめ） こ （おめ） ゝ （おめ） て （おめ） 日 （おめ） 本 （おめ） 国 （おめ） 民 （おめ） に （おめ） 代 （おめ） 表 （おめ） し （おめ） て （おめ） 此 （おめ） の （おめ） よ （おめ） う （おめ） な （おめ） 勇 （おめ） 断 （おめ） を  
 示 （おめ） さ （おめ） れ （おめ） た （おめ） ニ （おめ） ク （おめ） ソ （おめ） ン （おめ） 大 （おめ） 統 （おめ） 領 （おめ） は （おめ） い （おめ） め （おめ） 半 （おめ） 島 （おめ） ソ （おめ） ン （おめ） 元 （おめ） 大 （おめ） 統 （おめ） 領

外務省

米国議会、行政政府、そして米国民の友情に  
~~厚く感謝する~~ （おめ） も （おめ） の （おめ） こと （おめ） あり （おめ） ます。  
~~深く感謝する~~ （おめ） と （おめ） して （おめ） 此 （おめ） の （おめ） 日 （おめ） 米 （おめ） 友 （おめ） 好 （おめ） 協 （おめ） 力 （おめ） 関 （おめ） 係 （おめ）  
 の （おめ） 一 （おめ） 層 （おめ） の （おめ） 発 （おめ） 展 （おめ） は （おめ） 双 （おめ） 方 （おめ） の （おめ） 独 （おめ） 自 （おめ） 性 （おめ） に （おめ） 対 （おめ） す （おめ） 深 （おめ） く （おめ） 理 （おめ） 解 （おめ）  
 基 （おめ） と （おめ） して （おめ） 此 （おめ） の （おめ） 共 （おめ） 通 （おめ） の （おめ） 目 （おめ） 的 （おめ） の （おめ） 着 （おめ） 目 （おめ） を （おめ） 行 （おめ） っ （おめ） て （おめ） 行 （おめ） っ （おめ） て （おめ） 確 （おめ） 認 （おめ） する （おめ） こと （おめ） あり （おめ） ます。  
 一八五三年 （おめ） 再 （おめ） 日 （おめ） 米 （おめ） 和 （おめ） 約 （おめ） 締 （おめ） 結 （おめ） 後 （おめ） 日 （おめ） 本 （おめ） に （おめ） や （おめ） っ （おめ） て （おめ） 黒 （おめ） 船 （おめ） を （おめ） ひ （おめ） き （おめ） たい （おめ） 日 （おめ） 本 （おめ） に （おめ） や （おめ） っ （おめ） て  
 ま （おめ） い （おめ） り （おめ） たい （おめ） 日 （おめ） 本 （おめ） の （おめ） 同 （おめ） 提 （おめ） 督 （おめ） は （おめ） 沖 （おめ） 繩 （おめ） を （おめ） 軽 （おめ） 由 （おめ） して （おめ） 本 （おめ） 土 （おめ） に （おめ） 渡 （おめ） り （おめ） ました （おめ） と  
 日 （おめ） 本 （おめ） の （おめ） 土 （おめ） 領 （おめ） 有 （おめ） 権 （おめ） の （おめ） 事 （おめ） 実 （おめ） 行 （おめ） った （おめ） こと （おめ） あり （おめ） ます。  
 外務省

外務省

沖繩は、今日の日米関係の開始を告げ  
 たりするに、  
 た島であった。私は、それから約百二十年  
 を経た今日、ここにアグニュー副大統領を  
 アジア及び世界の平和に不可欠な日米間の友情を  
 確認し、一層発展させる機会を得た。  
 沖繩であった。この瞬間に  
 を覚えるのがあります。

外務省

太平洋を隔てた日本と米国の協力関係は  
 その豊かな太平洋のよう、複雑な中、無限の  
 可能性を秘めたものであることを、私は  
 感じています。

アグニュー副大統領の健康を祝し、さらに  
 別々ニクソン大統領の  
 沖繩百万県民のため、杯を上げ

外務省



大臣秘書官

儀典長  
儀典官

アメリカ局長  
参事官  
北米才一課長

13  
13  
13

13

アグニュー副大統領に對する佐藤総理 主催晚餐会における総理スピーチ(案)
昭和四十七年五月十三日 於總理官邸
アグニュー副大統領閣下、並に米國及び 日本の來賓各位
今夕ここにニクソン大統領の御名代として

外務省

乾杯致したいと存じます。
--------------

外務省

来日されたアケニー副大統領閣下及び  
御一行の皆様、の御来臨を得ましたことは  
私の真に光栄とするところであります。

貴副大統領には御就任以来、内政面  
に幾多の実績をあげておられることは云々に  
及びず、外交面におきましても、アジア、  
中近東、ヨーロッパ、アフリカ等、世界各地を

ひろく訪問され、国際親善に多大の貢献を  
行なってもらいました。この度、日米両国の  
友好と相互理解を象徴する沖繩の日本  
復帰という歴史的事業を共に祝う為に、  
貴副大統領の日本訪問が実現されました  
ことは私の心から欣快とするところであります。

沖繩百万県民をけじめ、日本国民全ての

宿願であった沖繩返還という壮举は、日米  
両国の政府及び国民の不断の努力によって  
築き上げられてきた両国間の緊密な友好と  
信頼の関係を基礎としてはじめて成就する  
ことのできたものであります。

人間一人一人の努力であり共有の努力。

戦争の結果外国の施政権下に置かれる  
領土が平和的な話し合いにより返還されると  
いうことは世界史上まことに類い稀なことであり  
ます。私はここで日本国民を代表し、この  
ような英断を示されたニクソン大統領はじめ、  
米国民議会議長、行政府、そして米国民の友情と  
理解に深く敬意を表するものであります。

十八日五時半にパルメット提督が運搬船をひきよす

人間一人一人がそうであるべきであらう  
日米両国はそれだけ豊富な特性と固有の  
歴史とを保持しております。すなわち、米國は  
広大な国土と資源に恵まれ、多くの民族より  
なる連邦國家であるのに対し、日本はせい  
国土のうに古い歴史を持つ単一の民族が  
住む國家であります。しかし同時に、

われわれの間に驚く程多くの共通点がある  
ことを示しております。まず第一に、日米両國  
には民主主義を基盤とし、自由を愛する  
國民より成っているという大きな共通点があり  
ます。また、社会内部の流動性がこれ程  
高く、競争原理がこれ程貫かれてる國は  
日米兩國以外には見当たらないといつても

過言でなく、高等教育が広範に普及し、情報  
化社会への移行がこれ程急テンポで進んでいる  
国と他に類を見ないのであります。また  
双方の国民は常により良い社会を未来に  
求めてあらゆる努力を払うというハタタリテン  
に溢れております。

戦争の結果外国の施政権下に置かれた

一八五三年にペルリ提督が黒船をひきいて  
日本にやってきましたが、同提督は沖繩を  
經由して本土に到来したと承知しております。  
かえりみずすめは、沖繩は、今日の日米関係の  
開始を告げた島であつたと云える訳であり  
ます。 ← 私は、それから百二十年を経て  
今日、ここにアケニョー副大統領をお迎え  
して、アジア及び世界の平和に不可欠な

日米間の友情を確認し、一層發展させる機会  
に接し得たことに無量の感慨を覚えるもの  
があります。

太平洋を隔てた日本と米国の友好と協  
力の関係は豊かな海原のように無限の可能  
性を秘めたものであることを、私はここに  
あらためて感ずる次第であります。

日取後に、ニクソン大統領閣下及びアグニョー  
副大統領閣下の御健康を祝し、さらに  
沖縄~~※~~百万県民のため、杯を上げたいと  
存じます。

真崎大使

(DRAFT)

アメリカ局長 }  
参事官 }  
北米第一課長

Remarks by Prime Minister Eisaku Sato  
at a Dinner Honoring the Vice President  
of the United States of America,  
~~The Honorable~~ Spiro T. Agnew, given by Prime Minister Sato

May 13, 1972

Mr. Vice President,  
Excellencies, Distinguished Guests,  
Ladies and Gentlemen.

It is a great <sup>honor</sup> pleasure for me to hold this dinner in honor of the Vice President, who has come to Japan to represent President Nixon on the occasion of the Reversion of Okinawa <sup>and I am grateful for the presence of the members of his party. I need not dwell upon his illustrious performance now in domestic politics abroad since he has made not only many achievements in the field of domestic politics but also has contributed greatly in the field of foreign relations through visits to all areas of the world, including Asia, Mid-East, Europe and Africa.</sup>

We are delighted that he has come to Japan <sup>to celebrate</sup> on this happy occasion of the Okinawa Reversion, <sup>a historic undertaking that</sup> which symbolizes friendship and mutual understanding between Japan and the United States.

The Reversion of Okinawa, which has been a long-fostered <sup>great project of</sup> wish of one million Okinawans and of the entire people of Japan, would not have <sup>succeeded</sup> been made possible without the <sup>foundation of</sup> close friendship and relationship based on mutual trust and friendship established through <sup>constant</sup> unceasing efforts <sup>of</sup> by the Governments and peoples of our two countries. <sup>There has a few, if any, instances</sup> It is a rare example in the world history that

(50)

<sup>where</sup> that a territory placed under administration <sup>of</sup> by a foreign country as a result of a war <sup>was</sup> returned through peaceful <sup>talks</sup> consultations. On behalf of the Japanese people, I would like to ~~take this opportunity to~~ express my deep appreciation to President Nixon, ~~to the United States Congress,~~ to the Administration, <sup>Congress</sup> and ~~to~~ the people of the United States, for their friendship and understanding in <sup>taking the most resolute action</sup> bringing about this <sup>event</sup> great decision.

Japan and the United States <sup>each has notable</sup> abound in their respective characteristics and ~~each has~~ its own history. Namely, the United States is a multi-racial federal state endowed with <sup>broad</sup> wide land space and abundant resources. Japan, on the other hand, is a ~~mono-racial~~ country of limited lands, <sup>area inhabited by a</sup> but with <sup>homogeneous people with</sup> a long history. At the same time, However, the history of association between our two countries over a century shows that Japan and the United States are surprisingly similar in many aspects. First, <sup>of all, the two</sup> it is pointed out that both countries are  <sup>alike</sup> based on democracy, <sup>and</sup> and they are composed of the people who love freedom and peace. <sup>It is no exaggeration to say that there is no other</sup> Nowhere is there such a high degree of social mobility <sup>and there</sup> nor is the rule of fair competition <sup>is</sup> applied so universally than in our two countries. <sup>I applied. Not in these any other country where</sup> It may further be added that few countries other than us enjoy wide <sup>the transition</sup> diffusion of higher education, and increasingly adapt to <sup>is no unclassroom</sup> the

~~the system of mass information oriented societies.~~ <sup>is proceeding at such a</sup> It is <sup>high speed.</sup>  
also true that both the Japanese and Americans abound in  
vitality ~~(to constantly)~~ endeavor to bring about a better  
society in the future.

In 1853, as you know, Commodore Perry made a surprise  
visit to Japan commanding <sup>a fleet of warships, which the Japanese people</sup> ~~the so~~ called "black-ships."  
<sup>squadron</sup>  
~~vessels with steam engines.~~ If I remember correctly, the  
Commodore came to the <sup>Japanese</sup> mainland ~~Japan~~ by way of Ryukyu Islands.  
Today, 120 years after his visit, I am more than happy to  
have this opportunity, with the presence of the Vice President,  
Agnew, to <sup>reaffirm and to promote further</sup> ~~rejoice further enhancement of~~ <sup>mutual</sup> our friendship,  
which is vital for peace in Asia and <sup>will</sup> ~~which would contribute~~  
greatly to ~~peace in the~~ world.

It is my sincere wish that the present visit of the  
Vice President will be a fruitful one and that <sup>he will</sup> ~~you would~~  
enjoy <sup>his</sup> ~~your~~ stay in Japan.

I now ask you all to join <sup>with</sup> ~~me~~ in a toast to the continued  
good health of President Nixon, Vice President Agnew and  
~~further~~ to one million people <sup>of</sup> ~~on~~ Okinawa.



最終稿(和) — 当日使用したもの

アグニュー副大統領に對する佐藤総理主催  
晩餐会における総理スピーチ(案)

昭和四十七年五月十三日  
総理官邸において

アグニュー副大統領閣下並びに米国及び日本の来賓各位

今夕ここにニクソン大統領の御名代として来日されたアグニュー副  
大統領閣下及び御一行の皆様のお来臨を<sup>この晩餐会を主催するに際し</sup>えしたことは、私のまことに  
光榮とするところであります。

貴副大統領には御就任以来、内政面で幾多の<sup>好ま</sup>実績をあげておられる  
ことはいうに及ばず、外交面におきましても、アジア、中近東、ヨー  
ロッパ、アフリカ等世界各地をひろく訪問され、国際親善に多大の貢  
献を行なつてこられました。この度、日米両国の友好と相互理解を象

徴する沖縄の日本復帰という歴史的事業とともに祝うために、貴副大  
統領の日本訪問が実現されましたことは私の心から欣快とするところ  
であります。

沖縄百万県民をはじめ、日本国民すべての宿願であつた沖縄返還と  
いう壮挙は、日米両国の政府及び国民の不断の努力によつて築き上げ  
られてきた両国間の緊密な友好と信頼の関係を基礎としてはじめて成  
就することができたものであります。

戦争の結果外国の施政権下に置かれた領土が、平和的な話し合いによ  
り返還されるということは、世界史上まことに類い稀なことでありま  
す。私は、ここで日本国民を代表し、このような英断を示されたニク  
ソン大統領はじめ、米国議会、行政府、そして米国民の友情と理解

に深く敬意を表するものであります。

日米両国は、それぞれが豊かな特性と固有の歴史とを持つております。すなわち、米国は広大な国土と資源に恵まれ、多くの民族よりなる連邦国家であるのに対し、日本はせまい国土のうえに古い歴史を持つ単一の民族が住む国家であります。しかし、同時に、日米両国の百年余にわたる修好の歴史は、われわれの間に驚くほど多くの共通点があることを示しております。まず第一に、日米両国には民主主義を基盤とし、自由と平和を愛する国民よりなつているといふ大きな共通点があります。また、社会内部の流動性がこれほど高く、競争原理がこれほど貫かれていたる国は、日米両国以外には見当たらないといつても過言でなく、高等教育が広範に普及し、情報化社

会への移行がこれほど急テンポで進んでいる国もほかに類をみないのであります。また、双方の国民は、常によりよい社会を未来に求めてあらゆる努力を払うというバイタリティにあふれております。

一八五三年にペルリ提督が黒船をひきいて日本にやつてまいりましたが、同提督は沖繩を経由して本土に到来したと承知しております。私は、それから百二十年を経た今日、ここにアグニュー副大統領をお迎えして、アジア及び世界の平和に不可欠な日米間の友情を確認し、一層発展させる機会に接しえたことに無量の感慨を覚えるものであります。

新大統領閣下の今般御訪日に来り、ものなること念願しつつ太平洋を隔てた日本と米国の友好と協力の関係は、豊かな海原の上  
海が私にも私にも状況におおむね一致したるものなり。私に深く  
よりの無限の可能性を秘めたものであることを、私はここにあらた

めて感ずる次第であります。  
ニニニ、御引當りの御存じとて  
最後は、ニクソン大統領閣下及びアグニュー副大統領閣下の御健  
康を祝し、さらに沖縄百万県民のため、杯を上げたいと存じます。

(DRAFT)

Remarks by Prime Minister Eisaku Sato  
at a Dinner Honoring the Vice President  
of the United States of America,  
~~The Honorable~~ Spiro T. Agnew,  
given by Prime Minister Sato

May 13, 1972

Mr. Vice President,  
Excellencies, Distinguished Guests,  
Ladies and Gentlemen,

It is a great honor for me to hold this dinner in honor of the Vice President, who has come to Japan <sup>as a personal</sup> to represent <sup>active of</sup> President Nixon on the occasion of the Reversion of Okinawa to Japan, and I am grateful for the presence of the members of his party. I need not dwell upon his illustrious performances in domestic politics recorded since his assumption of office. He has also made great contributions to international friendship by visiting widespread areas of the world, including Asia, Mid-East, Europe and Africa. We are delighted that he has come to Japan to celebrate the Okinawa Reversion, a historic undertaking that symbolizes the friendship and mutual understanding between Japan and the United States.

The

最終稿

用  
日  
の

- 2 -

The great project of Reversion of Okinawa, which has been a long-cherished wish of one million Okinawans and of the entire people of Japan, would not have succeeded without the foundation of close friendship and mutual trust established through constant efforts of the Governments and peoples of our two countries. There has a few, if any, instances in world history where a territory placed under administration of a foreign country as a result of a war was returned through peaceful talks. On behalf of the Japanese people, I would like to express my deep appreciation to President Nixon, ~~and~~ to the Administration, Congress, and <sup>to</sup> people of the United States, for their friendship and understanding in taking such a resolute action.

Japan and the United States each has notable characteristics and its own history. Namely, the United States is a multi-racial federal state endowed with broad land <sup>space</sup> ~~space~~ and abundant resources. Japan, on the other hand, is a country of limited area inhabited by a homogeneous people with a long history. However, the history of association between our two countries over a century shows that Japan and the United States are surprisingly similar in many aspects. First of all, the two countries

are

are ~~like~~<sup>are</sup> based on democracy and composed of the people who love freedom <sup>and</sup> peace. It is no exaggeration to say that there is no other country in the world <sup>other</sup> than our two countries where there is such a high degree of social mobility and where the rule of fair competition is so universally applied. Nor is there any other country where higher education is so widespread and the transition to information-oriented society is proceeding at such a high ~~speed~~<sup>speed</sup>. It is also true that both the Japanese and Americans abound in vitality constantly to endeavor to bring about a better society in the future.

In 1853, as you know, Commodore Perry made a surprise visit to Japan commanding a squadron of warships, which the Japanese people called "black-ships". If I remember correctly, the Commodore came to the Japanese mainland by way of <sup>the Ryukyu Islands</sup> ~~the Ryukyu Islands~~. Today, 120 years after his visit, I am more than happy to have this opportunity, with the presence of the Vice President, to reaffirm and develop further our mutual friendship, which is vital for peace in Asia and the world.

It is my sincere wish that the present visit of the Vice President will be a fruitful one and that he will enjoy his stay in Japan.

I now ask you all to join with me in a toast to the continued good health of President Nixon, Vice President Agnew and to one million people of Okinawa.

アメリカ局長  
参事官  
北米第一課長

(注) 米側によれば、アグニュー副大統領は、  
2.3分の極く簡単な挨拶を行なう  
予定の由あり、その内容も「武典に  
おける総理」程度のものであり、日米関係の  
重要性、世界平和等のトーンのスピーチは  
行なわれぬとの注

アグニュー副大統領主催晩餐会に  
おける総理

昭和四十七年五月十五日

アグニュー副大統領閣下、並びに御列席  
の皆様

本日ここに副大統領閣下の温かい

御招待を蒙り、沖繩の本土復帰の

成程大あつちの  
帰る晩餐

外務省

成就を貴副大統領と共に祝う機会を  
得ましたことは、私の真に欣快とするところ  
であります。

沖繩百万県民を介し、日本の国民は

この感激と喜びを永く記憶に止めると共に

慶賀すべき本日を迎えるに到る迄の長い道程

において、ニクソン大統領閣下を介し、米国民

外務省

加示された友情と理解を心に刻むこと  
 ありましよう。私は、貴副大統領閣下  
 への本日の式典への遠路はる来日  
 された御礼が、貴副大統領の御  
 出席の式典に出席するの式典に  
 たることを衷心より物とすものとあります。  
 ここにニクソン大統領閣下とアケニエー  
 外務省

副大統領閣下の御健康を祝しつつ、日米友好  
 関係の一層の発展のために杯を上げたいと  
 存じます。

外務省

アグニュー副大統領主催晩餐会における  
総埋スピーチ (案) 昭和四十七年五月十五日

アグニュー副大統領閣下並びに御列席の皆様

本日ここに、副大統領閣下の盛大、かつ、心暖まる晩餐にお招きにあずかり、沖縄の本土復帰の成就を貴副大統領とともに祝い合う機会をえましたことは、私の真に欣快とするところであります。

沖縄百万県民をはじめすべての日本国民は、この感激と喜びを永く記憶に止めるとともに、慶賀すべき本日を迎えるに至るまでの長い道程において、ニクソン大統領閣下をはじめ米国民が示された友情と理解を心に刻むことでありましょう。私は、貴副大統領閣下が多忙の日程をさかれ遠路はるばる来日され、本日の式典に出席さ

れたことにより、この式典が一層有意義なものとなつたことを衷心より多とするものであります。

ここにニクソン大統領閣下とアグニュー副大統領閣下の御健康を祝しつつ、日米友好関係の一層の発展のために杯を上げたいと存じます。



アケニニ 主権回復会 5月15日

(DRAFT)

Remarks by Prime Minister Eisaku Sato  
at a Dinner in His Honor Given by  
Vice President Agnew

May 15, 1972

Mr. Vice President,  
Distinguished Guests, and  
Gentlemen:

It is with deep gratitude and great pleasure that I attend this heart warming dinner and celebrate with the Vice President the accomplishment of the Reversion of Okinawa.

All the Japanese people especially one million people of Okinawa will long remember how they were moved and delighted today, and cherish deep in their hearts the friendship and understanding shown to us by President Nixon and the officials and people of the United States in the long course of events leading up to this felicitous day. I highly appreciate your sparing time out of your tight schedule and coming all the way to attend today's ceremony and add to its significance.

May I now drink with you to the good health of

President

真  
心  
祝  
賀

- 2 -

President Nixon and Vice President Agnew and to the enhance-  
ment of Japanese-American friendship.